

モールテックスについて

モールテックスは様々な下地素材に施工可能です。

多孔質で吸水性のある下地（板、セメント、モルタルなど）や、金属やタイルなどの表面が滑りやすいものにも施工ができ、屋内外に使用可能な機能性と意匠性を併せ持つ製品です。

製品の種類について

大まかな製品分類は以下のとおりです。

・プライマー（下地）

レジデュール（RESIDUR）

レジパクトG（RESIPACT G）

※金属やガラスなど表面が滑らかで、水滴を垂らした際に珠状になる素材に塗布される場合

レジボックス（RESIPOX W）

※外の塀など水気が上がってくるような場所

・粉状製品

モールテックス・カラー 2 N（MORTEX COLOR-2N）

モールテックス・カラー 2 F 1,2,3,4（MORTEX COLOR-2F 1,2,3,4）

※ 2 F 1～4は、2 Nより粒度が細かい製品です。

また、F 1→F 4になるに従ってより粒度が細かくなります。

・専用攪拌液製品

ビールクリル 2（BEALCRYL2）

・補填剤

FBE3（流動化剤）

RBE3（硬化遅延剤）

・顔料

全120色

・汚れ防止剤

オイル系

フィニッシュ S A 透明（FINISH SA TR）

オイル・モールテックス（OIL MORTEX COLOR OH TR）

レペルオイル（REPEL OIL）

ニス系

ポリタン N 1 2 0 M, B（POLYTHANE N120 M, B）

ビピュール M, S, G（BIPUR M, S, G）

ワックス

ビールワックス（BEAL WAX）

一般的な施工手順

床、階段など強度を必要とする場所、浴室などの防水性能を必要とする面は、テクニカルレイヤー1mm厚を2層塗り重ねます。



1

レジデュール or レジバクトGを塗って完全に乾燥させます。

※20℃下で指触可能な表面乾燥まで：2～3時間、完全乾燥：7～8時間



2

モールテックス・カラー2N + ビールクリル2でネタを作り、1層目（1mm厚の機能性を持たせる膜）を塗り、完全に乾燥させます。（これをテクニカルレイヤーと呼びます。）

※20℃下で指触可能な表面乾燥まで：1時間、2層目塗布乾燥時間：8～24時間



3

2層目 テクニカルレイヤーを同じように1mm厚で塗布します。



4

2層目が完全に乾き切る前（30～40分後）に仕上げ塗りをします。

（これをフレスコ塗りと呼びます。）

完全に乾き切る前に新しいネタで上から押し込むように塗布することで、2層目とネタが合体します。表面に細かい粒子が浮き出てテクニカルレイヤーにはない輝いた表面になります。これで1層とみなしています。

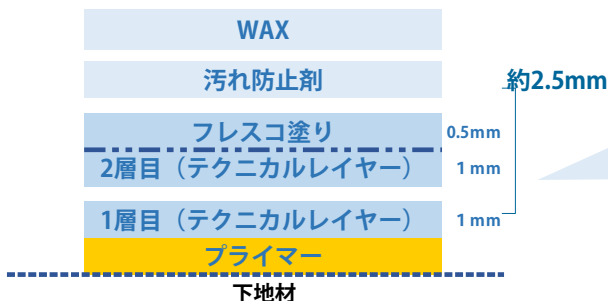


5

48時間乾燥させた後、お好みに応じて、研磨や汚れ防止剤を塗布します。

オイル・モールテックス、レベルオイルなど
オイル系を使用する場合は事前に水洗いをする

白華防止の為、
研磨後は全体を
水洗いしてください



※フレスコ塗りとはテクニカルレイヤーに
刷り込む仕上げ塗りのことです。
2層目と合体するので、
この両方で1層とみなしています。

※上記1～5の工程で、塗り厚は2.5mm～3mm程度です。あまり厚く塗ると割れてしまうのでご注意ください。

※リビングの壁や天井、機能性（強度や防水など）を求めない面の施工には、

テクニカルレイヤーを1層塗り、最後にフレスコ塗りで仕上げることも可能です。

一般的な施工の基本材料について

一般的な施工（2層塗り）の場合に必要な基本的な材料と分量は下記をご覧ください。

基本材料

- ・レジデュール（プライマー）
- ・モールテックス・カラー2N（粉状製品）
- ・ビールクリル（液状製品）



必要に応じて

- ・顔料
- ・汚れ防止剤
- ・補填剤

基本分量（2層塗り）



・



モールテックス・カラー2N	：	ビールクリル	
25Kg / 袋	：	5L / 本	= 5平米分
5Kg / 袋	：	1L / 本	= 1平米分

モールテックス・カラー2Nの消費量の詳細は・・・

- ・テクニカルレイヤー（1mm厚の機能性を持たせる膜） = 2kg/平米
- ・フレスコ塗り（テクニカルレイヤーに刷り込む仕上げ塗り） = 1kg/平米

一般的な施工はテクニカルレイヤーを2層塗り重ね、最後にフレスコ塗りで仕上げるので…

$$2\text{kg} + 2\text{kg} + 1\text{kg} = 5\text{kg}$$

よって、5kg/平米のモールテックス・カラー2Nの粉が必要になります。

意匠的な施工やリビングの壁、天井、機能性（強度や防水など）を求めない面の施工には、テクニカルレイヤーを1層塗り、最後にフレスコ塗りで仕上げるので…

$$2\text{kg} + 1\text{kg} = 3\text{kg}$$

よって、3kg/平米のモールテックス・カラー2Nの粉が必要になります。

※モールテックス・カラーF2,3,4に関しては分量が変わります。
別紙モールテックス消費量一覧をご覧ください。

顔料について

モールテックスは、何も顔料を入れない状態ですとBM01の白色になります。
色をつけたい場合は、モールテックス専用の顔料を使用して頂きます。
下記は「顔料配合表」を参照し、例として
【BM59 2平米】の顔料の量とビールクリルの追加量の計算方法です。

・顔料の量

「顔料配合表」のBM59の欄の右側の数値

“MC2N（モールテックスカラー2N）1kgの粉に対する顔料配合量（グラム）” は、

11g です。

2平米分のモールテックスカラー2Nの粉の量は…

※1平米に必要なモールテックスカラー2Nの量は5kgですので…

$$\begin{aligned} 5\text{kg/平米} \times 2\text{平米} &= 10\text{kg} \\ 10\text{kg} \times 11\text{g} &= 110\text{g} \end{aligned}$$

よって、2平米分のBM59のお色を作るには、

顔料は **110g** 必要になります。

・ビールクリル追加量

顔料を追加した分、5:1の割合が崩れるのでビールクリルも追加して頂くようになります。

ビールクリルは **顔料の半分量** を追加して頂きます。

しかしモールテックス・カラー2N（粉状製品）に対し、ビールクリルは（液状製品）の為、**ml** で表記されている、BM59の欄、左側の数値を参照して下さい。

BM59の顔料の量は、モールテックスカラー 1kgに対し、

11gで **11g = 10ml** です。

モールテックスカラー 2Nの粉、10kg（2平米分）を着色すると、

110gの顔料を入れるのでその顔料は **110g = 100ml**

顔料分の足すビールクリルはその半分ですから、

$$100\text{ml} \div 2 = 50\text{ml}$$

よって **50ml** のビールクリルを追加して頂くようになります。

※顔料や追加のビールクリルの量は色や平米数によって変わりますので、
施工される前に、必ず施工者全員で計算し、各製品の分量を把握して頂くようお願いしております。

汚れ防止剤について

モールテックスは汚れ防止剤を塗らなければ、基本的に染みや汚れがつきます。防止剤はオイル系とニス系の2種類あり、施主の好み、メンテナンス頻度や施工場所により、適した防止剤が変わってきます。

オイル系の特徴

浸透性の汚れ防止剤で、表面に“膜”をつくりません。

商品ごとに適切な時期に塗り直して頂くメンテナンスが必要です。

飽和状態になるまで染みこませて下さい。（飽和状態は講習会にてご説明しております）

BEAL WAXを併用することで、より深みが出たり、それぞれの効果が高まります。

種類

- ・ フィニッシュSA
(FINISH SA TR)
- ・ オイル・モールテックス
(OIL MORTEX COLOR OH TR)
- ・ レペルオイル
(REPELOIL)



BEAL WAX

※必要という事ではありません

ニス系の特徴

表面に“膜”をつくる膜状の汚れ防止剤で、ほぼ全ての汚れに対応しますが屋外には塗れません。

オイル系と違い、一度施工すれば効果は持続します。（傷などがついた場合は再施工が必要です）

膜を作る為、モールテックスの手触り、風合いや色合いにオイル系とは違いが出ます。

種類

- ・ ポリタンN120 M,B (POLYTHANE N120 M,B)
M：マット／艶なし
B：ブリリアント／艶あり
- ・ ビピュールM, S, G (BIPUR M, S, G)
M：マット／艶なし
S：サタン／艶消し（半艶）
G：グロス／光沢

オイル系

フィニッシュ SA TR (FINISH SA TR)		消費量：150～200g / m ² 継続して毎日の手入れに使用することで防汚効果が高まっていきます < 750g = 約3.7平米, 5kg = 約25平米 > 天然石鹼を作る為のオイルに疎水剤を添加した汚れ防止剤
施工できる場所	屋内のみ 壁や天井、汚れをあまり気にしない場所での使用 モールテックスカラーのような鉱物性塗材用	
利点	天然素材 透明 パステル色のような淡い色調の壁面に使用しても、様相に変化を与えない 白壁にも使用できる 若干、微妙に濡れ色になる	
メンテナンス	毎回の日常的な手入れで使用	

オイル・モールテックス (OIL MORTEX COLOR OH TR)		消費量：下地の多孔質の度合いに応じて、100～200ml / m ² 3～4回重ね塗り < 1L = 約5平米, 5L = 約25平米 > 一部成分を燃焼処理し、乾燥剤（シッカチーフ）によって変成、脱色された天然オイルに、撥水・撥油成分を含む硬化剤を混合させた汚れ防止剤
施工できる場所	屋内外に使用可能（屋外は一時的なものの場合） 住宅の床、壁、作業テーブル、水場など 鉱物性塗材、コンクリート、木などの表面保護	
利点	天然素材 濡れ色に変わる 膜の組成を長持ちさせる 古くなった様相を再生させる 表面に光沢を与える	
メンテナンス	2～4回/年の頻度で塗り替えが必要	

レペルオイル (REPELOIL)		消費量：100～200ml / m ² モールテックスの層が飽和状態になるまで重ね塗りが必要 < 1L = 約5平米, 5L = 約25平米 > 屋外で使用しても紫外線によって黄変せず、天候の変化によって影響を受けない高性能素材を主成分とする。
施工できる場所	屋内外に使用可能 キッチン天板、テーブル、水場（浴室や洗面室）、家具什器、床、階段、 屋外壁面（落書き防止効果）など コンクリート、モルタル、自然石、人工石など多くの鉱物性下地	
利点	油に対する優れた撥油性 水滴、油滴が表面張力で珠状になる効果 長期間（数年間）に渡る性能維持 乾燥時ベタつかない、メタノールを発生しない 壁面の蒸気交換を妨げない 高い紫外線耐性 塗布後に若干、色の变化あり	

ニス系

ポリタンN120 M,B (POLYTHANE N120 M,B) M:艶なし、B:艶あり	消費量：100～150ml / m ²
	< 1kg = 約6.6平米, 5kg = 約33.3平米 > 脂肪族ベースの2液性の溶剤系ポリウレタン・ニス
施工できる場所	屋内のみ 床や壁、作業台に使用 鉱物性塗材、コンクリート、木などの表面保護
	手入れが簡単、メンテナンスフリー 膜が透明の為、モールテックスの色合いの変化が少なく清みます 黄変しない 紫外線に対し耐性がある

ビピュールM,S,G (BIPUR M:艶無し, S:艶消し, G:光沢)	消費量：100～150g / m ²
	< 1kg = 約6.6平米 5kg = 約33.3平米 > 脂肪族成分、水、特殊補填剤を主成分とする2液性のニス。
施工できる場所	屋内のみ 2日間に分けて2回塗りをする 床、壁、天板、浴室、洗面台など モールテックス製品、またはそれに類似する製品の為の汚れ防止剤
	手入れが簡単、メンテナンスフリー 油に対する優れた耐性 透明 黄変しない 紫外線に対し耐性がある 弱酸性成分、溶剤、石油精製剤などに対する耐性

ワックス

ビールワックス (BEAL WAX)	消費量：20～60ml / m ²
	< 350ml = 約5.8平米, 2.5L = 約41.6平米 > カルノーバ、カンデリラなどの天然植物オイル、テレピンオイル、蜜蝋をベースとしたペースト状ワックスです。シリコンは使用しておりません。
施工できる場所	屋内のみ 鉱物性塗材、コンクリート、木などの表面保護
	汚れ防止剤の膜の機能を長持ちさせる 古くなった様相を再生させる 表面に光沢を与える
メンテナンス	3～6回/年の頻度で塗り替えが必要